

# 事業計画書概要版

## 1 市民の平等な利用に関すること

### (1) 管理運営方針等

- ア 子どもたちの心の居場所とし、遊び、学び、育ちあう場所を目指し取り組んでいる。
- イ 子どもたちも参加できる自治の場所としている。
- ウ 設置目的と管理方針を踏まえ、「心と体」の置き場とし、「居心地のいい場」を目指している。

### (2) 平等利用

- ア 週1回を目途に児童館会議を実施し、地域の要望を聞きながら利用者の拡大拡充を図る。
- イ 苦情解決処理の規約及び解決の仕組みがある。

## 2 施設効用の発揮に関すること

### (1) 利用の促進

- ア 地域ニーズを把握するために、児童館祭りを年に数回実施している。
- イ 隔週で児童館だよりを発行している。
- ウ 主催行事に中学生のボランティアを募集することで地域交流も図っている。
- エ 地域へ定期的なあいさつ回りを実施している。

### (2) サービス・利便性の維持向上

- ア 利用者アンケートを実施し、必要な意見は児童館だよりに掲載する仕組みがある。
- イ 定期的に利用者及びボランティアを募り、奉仕作業の日を設けている。
- ウ 利用者ニーズについて、「即対応できるもの」「しばらく時間を必要とするもの」「かなり時間を必要とするもの」に大きく区分し、よりよい対応方法について検討している。
- エ 利用頻度の高い遊具や遊びの把握を適宜行い、より多くの利用者が満足できるように取り組んでいる。

## 3 経済的な管理運営に関すること

- ア 法人本部で人件費等を管理することで経費の削減を図っている。
- イ 清掃及び軽微な修繕は、管理者自身が行い、経費削減に努めている。

## 4 安定的な施設の管理運営に関すること

- ア 実施事業や事業に係る職員数（正規・非正規・新規）等、法人全体が把握できる組織図等を作成し管理している。
- イ 県主催の研修等の参加（年3回以上）や法人内研修（年2回実施）、職場会議の定

例化（月2－3回）を実施し、職員の資質向上を図っている。

ウ 職員雇用の際に、個人情報保護の誓約書を交わすなど法令順守している。

エ 主催行事に中学生のボランティアを募集することで地域交流も図っている。

5 地域への貢献に関すること

ア 地域の方の雇用を積極的に行い、地域住民の声も拾える運営を目指している。

イ 地域座談会を年3回以上実施し、児童館に対する要望なども聴取している。

6 その他、公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること

ア 集団的指導として、各種行事での子どもたちの意見の聴取し、子どもが主体的に活動できるよう支援している。

イ 個別指導として、児童館職員会議や地域座談会を通して意見交換やケースの共有を活発に実施している。

ウ 長く積み上げている運営実績と、築き上げている保護者や関係者との信頼関係をもとに、地域とのつながりを深めている。